

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ほみいくらぶ			公表日	令和8年2月2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員に対し、指導訓練室のスペースが適切であるか	○		・体を動かしても大丈夫なスペースが確保されている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化や環境上の配慮が適切になされているか	○		・スロープの設置や手すり、段差のない室内である為、車椅子でも移動しやすい環境である	
	4	送迎中の乗車や降車の際に車内の確認や消毒を徹底して行っているか	○		・児童置き去り防止シート(用紙)の活用や児童を降ろした後の室内消毒は全職員が忘れずに行っている ・季節に関係なく毎日実施している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○		・パーティション等を使用し個別の空間を作る対応を行っている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・関わっている職員の意見も大事にしている	
	7	保護者等向け評価表を活用しアンケート調査を実施し保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		・毎日のミーティングや職員会議、定期的にある面談にて思いや考えを聞いて対応している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	○		・必要な研修に加え職員がやりたい研修、興味がある内容を取り入れて実施している	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			
	12	こどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			
	13	個別支援計画を作成する際には児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		・ミーティングで情報の共有をしている	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○			
	15	こどもの適応行動の共有を評価するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・児童の様子に合わせて活動内容を考えており、ミーティング時にあがった児童の姿から活動内容を組み立てる事が多い ・各職員が考えている活動を意見する場があり、話し合いを行いながら組み立てている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・継続的な活動内容であれば続けて同じ物を行う場合もあるが、毎回違う内容となるよう変更する様にしている ・ミーティングで子どもたちの様子を話し合い今、必要な内容も取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		・ミーティング時に打ち合わせを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・ミーティングで活動の振り返りや児童の状況、必要な支援の話し合い、共有している ・気づいた点は会社の携帯のLINEに残し振り返られるようにしたり、翌日にミーティングで周知や意見交換を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの4つの基本活動(自立支援と日常生活の充実のための支援、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供)を複数組み合わせる支援を行っているか	○		・日頃から体育活動では地域の子どもと一緒に参加出来る工夫をしている	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	○		・児童の自己選択・自己決定力を伸ばすため選択肢のあるものに関しては自分で決めるよう促し、その選択に対して否定的な声掛けは絶対にしないよう心掛けている ・基本的には本人に考えて決めてもらえるような状況を作って次のステップに進む事が出来る支援をしている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○		・大きな変化や長く解消されない様な事について相談室を中心に学校、医療等と連携している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		・送迎時に担任の先生等に1日の様子を聞き情報共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		・必要に応じて対応しています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		・管理者が参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・帰りの送迎時には必ず保護者にお会いし本人の様子を伝えている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○		・年に1～2回お祭りや交流会を行い、全体に向けて子育て等の情報をお伝えしている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	○		・いつでも相談は受け付けており、保護者のスタイルに合わせてお電話、面談等柔軟に対応しています	
	40	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	○		・年1回以上は交流会を開催し、保護者同士で交流する機会を設けている	
	41	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・SMS(Instagram)では活動の様子、LINEでは保護者と連絡のやり取りなど、必要に応じて使い分けており、定期的な発信を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか	○		・児童の名前が記載されているもの、顔写真や絵などの個人を特定出来るものは十分注意をして取り扱っている。また、事業所から極力持ち出さないように心掛けている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・今必要な事、保護者が望んでいるものを一緒に考え、配慮しお伝えしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか	○		・夏祭りイベントでは、地域住民に直接チラシを渡し、案内する等積極的な交流を図っている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・定期的に行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・職員のみと児童も含めた2パターンの訓練を行っており、地震、津波、噴火など様々な災害を想定して訓練を行っている ・洞爺湖町の災害対応連合会議にも参加している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		・保護者から情報を頂いたり、学校と子どもの様に日頃対応しているのか等共有しながら支援に繋がっています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・アレルギー内容や症状、対応等について全職員に周知し、おやつ提供や食事に関してはアレルギー源となるものは混入しないよう徹底している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分になされた中で支援が行われているか	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	○		・小さな事でも気づいた危険はヒヤリハットを作成するようにしている。また、職員全体で共有し、再発防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止研修は最低でも年3回開催するようにしている ・十分に研修をしたり、日頃目につくよう掲示物をおいたり、1人に対応しない等気を付けている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	○		・現在は身体拘束を必要とする児童が在籍していない為「いいえ」としているが、今後必要とする児童が入った際には十分な説明と計画への記載を行った上で実施する	